

伝送線用給電ユニット据付説明書

1 安全のために必ず守ること

- 据付の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 移設・修理の時は工事をされる方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

**警告**

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、据付説明書に従い確実に行ってください。据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付けは、重量に十分に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び据付説明書に従い施工してください。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。	本機を移設する場合は、販売店又は専門業者にご相談ください。据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
改造・修理は絶対にしないでください。修理に不備があると感電、火災等の原因になります。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。	本機は必ず、制御盤内等、人が触れることの出来ない場所に設置してください。人が触れると感電の恐れがあります。

**注意**

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けしないでください。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火の原因となることがあります。	本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けしないでください。変形、故障の原因となります。
特殊環境には、使用しないでください。油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	浴室、厨房など大量の湿気が発生するところには据付けしないでください。壁が結露するような場所は避けてください。故障の原因となります。
病院、通信事業所などに据付けされる場合は、M/A に対する備えを充分に行なって施工してください。インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。	酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けしないでください。変形、故障の原因となります。
アース工事を必ず実施ください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。	配線は、電流容量、規格品の配線にて工事を行ってください。漏電や発熱・火災の原因になります。
配線は張力がかからないように配線工事を行ってください。断線したり、発熱、火災の原因になります。	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させないでください。故障の原因となります。
ヒューズがある製品は正しい容量のヒューズ以外を使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。	端子台カバーや絶縁シートを外さないでください。火災、感電の原因となります。
霧、水、ゴミ、虫等の侵入防止のため、配線引込み口をパテで確実にシールを行ってください。	
本機を水洗いしないでください。感電の原因になることがあります。	

2 部品確認

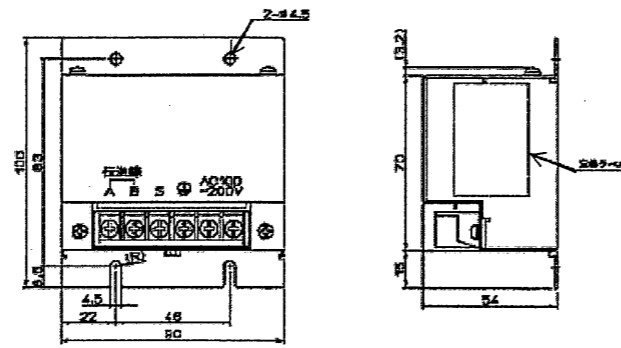
- 箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

番号	品名	個数
①	伝送線用給電ユニット	1

3 製品仕様

電源	AC100V/200V 50/60Hz	
消費電力	10W	
出力	DC24V 250mA	
ヒューズ	遅延型 2.0A	
接続	電源線 P-N、伝送線(2-11')	
使用環境	温度	0~40℃
	湿度	30~90%RH(結露なきこと)

4 外形寸法

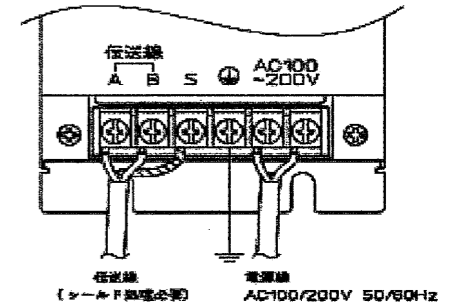


5 据付方法

- (1) 現地手配部品  
本機を据付ける前に、以下の部品をご準備ください。

手配部品	内容		
電源線、アース線	シース付ビニールコードまたは、ケーブルをご使用ください。 電線の種類 … VVF、VVRまたは、これに相当するもの。 電線サイズ … 0.75mm <sup>2</sup> ~ 1.25mm <sup>2</sup>		
M-NET伝送線	シース付ビニールコードまたは、ケーブルをご使用ください。 電線の種類 … CPEVS、CVVS、または、これに相当するもの 電線サイズ … 単線 : φ1.2mm ~ φ1.6mm より線 : 1.25mm <sup>2</sup> ~ 2mm <sup>2</sup>		
過電流遮断機	過電流遮断器	配線用遮断器	漏電遮断器
	容量	ヒューズ	
	3A	3A	3A 30mA 0.1sec以下

- (2) 製品の固定方法  
●M4ねじを使用して固定します。落下の原因になりますので、必ず4ヶ所固定ください。取り付け位置は、4項の外形寸法を参照ください。  
●据付方向は、水平、垂直いずれでも可能ですが、垂直据付の場合は、4項の“外形寸法”のように端子台が下側に来るように設置してください。
- (3) 配線工事方法  
●本機の“A”、“B”端子に、M-NET集中管理系の伝送線(室外機TB3側)に接続してください。  
ご注意: 室内機系の伝送線(室外機TB3側)を接続に接続しますと空調機器本体、システムコントローラが正常動作しません。  
●本機は、必ず制御盤内などの人が触れないところに設置してください。  
ご注意: 人の触れるようなところに設置した場合、感電の恐れがあります。  
●“S”端子に伝送線のシールドを接続してください。  
●電源線を“AC100~200V”端子に接続してください。  
●アース線を ⊕ に接続してください。接地工事は、D種接地工事を行ってください。



6 システム接続例

- (1) 接続台数の制限について

①各コントローラーの接続台数制約

ビル用マルチ、店舗用PAC用システムコントローラーでのご使用		ロスナイシステムでのご使用	
集中コントローラー G-50	ON/OFFリモコン	システムリモコン/スケジュールタイマー/グループリモコン	ON/OFFリモコン(M-NET)
1台	4台	9台	18台

②異種コントローラーを接続する場合の台数制約  
G-50を接続しない場合

システムリモコン、スケジュールタイマー、グループリモコンの合計台数	ON/OFF リモコンの合計台数					
	0台	1台	2台	3台	4台	5台
0台	○	○	○	○	○	×
1台	○	○	○	○	○	×
2台	○	○	○	○	×	×
3台	○	○	○	○	×	×
4台	○	○	○	×	×	×
5台	○	○	○	×	×	×

G-50を1台接続する場合

システムリモコン、スケジュールタイマー、グループリモコンの合計台数	ON/OFF リモコンの合計台数		
	0台	1台	2台
0台	○	○	×
1台	○	○	×
2台	○	×	×
3台	○	×	×
4台	×	×	×
5台	×	×	×

- (2) システム接続例

- 本機を使う場合 M-NET 室外機の、集中管理系伝送線への給電設定は工場出荷時のまま CN41(無給電)としてください。
- 給電は、共通の伝送線内では1台のみとしてください。

